

イチジク（果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる）

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期（回数）	使用回数	疫病	灰色かび病	株枯病	黒葉枯病	白紋羽病	黒かび病	さび病	そうか病	ゆめ合促進
I Cボルドー66DFL	M1		-	-			◎						
Zボルドー水	M1		-	-	◎								
コサイド3000DF	M1		-	-	◎								
トップジンM水㊟	1		7	5			◎		◎		◎		
			1	6			灌						
トップジンMペースト㊟	1		*a	3									◎
ベンレート水㊟	1		30	5			◎						
フルーツセイバーFL	7		1	3		◎				◎			
アミスター10FL	11		1	3	◎		◎			◎	◎		
ライメイFL	21		1	3	◎								
ランマンFL	21		1	3	◎								
フロンサイドSC	29		30	1				◎					
ロブラール500アクアFL	2		3	3					◎				
アンビルFL	3		1	2						◎			
オンリーワンFL	3		*b	3			◎						
トリフミン水	3		1	3						◎	◎		
			1	4			◎						
ラリー水	3		1	4						◎			
レーバスFL	40		1	3	◎								
キノンドーFL	M1		60	3								◎	
ダコニール1000FL	M5		1	2	◎		◎		◎	◎			
パスポート顆水	M5		1	2	◎					◎			
デランFL	M9	劇	75	3								◎	

㊟：チオファネートメチル含有剤 ㊟：ベノミル含有剤 ㊟を使用した場合には同じ作での㊟は使用しないこと。その逆も同様（種子への処理および塗布処理を除く、詳細はP. 856 参照）。*a:剪定整枝時、病患部削り取り直後及び病枝切除後

*b:生育期(但し収穫前日まで) 灌：灌注

イチジク (果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用 機 構 分 類 コ ー ド	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	ア ブ ラ ム シ 類	ア ザ ミ ウ マ シ 類	カ イ ガ ラ ム シ 類	シ ョ ウ ジ ョ ウ バ エ シ 類	ヨ ト ウ ム シ 類	ハ ス モ ン ヨ ト ウ シ 類	イ チ ジ ク ヒ ト リ モ ド キ シ 類	ア イ ノ キ ク イ ム シ 類	カ ミ キ リ ム シ 類	キ ボ シ カ ミ キ リ 類	ハ ダ ニ 類	イ チ ジ ク モ ン サ ビ ダ ニ 類	ネ コ ブ セ ン チ ユ ウ 類
スピノエース顆水	5		1	1		◎											
コロマイト水	6		1	1											◎		
コロマイト乳	6		1	1											◎		
バストリア水	-		*a *b	-													◎ ◎
サンクリスタル乳	-		1	-											◎		
オルトラン水	1B		45	1		◎											
ガットサイドS乳	1B		*d *e	3								◎	◎				
ジェイエース溶	1B		45	1		◎											
ネマトリンエース粒	1B		60	1													◎
アーデント水	3A		1	2	◎		◎	◎	◎						◎		
アディオン乳	3A		1	2	◎	◎					◎						
園芸用キンチョールE	3A		1	2									ク				
スカウトFL	3A	劇	1	3		◎											
アクタラ顆溶	4A		1	2		◎											
ダントツ溶	4A		3	3		◎							◎	◎			
モスピラン顆溶	4A	劇	1	3		◎	◎				◎			◎			
トランスフォームFL	4C		7	3			◎										
ディアナWDG	5		1	2		◎		◎									
デリゲートWDG	5		1	2		◎		◎									
ネマモール乳	8A	劇	14	2													◎
ニッソラン水	10A		1	2											◎		
バロックFL	10B		1	1											◎		
コテツFL	13	劇	1	2		ヒ		◎							カ		
アブロードFL	16		14	2			幼										
マイトコーネFL	20D		1	1											◎		
サンマイト水	21A	劇	45	1											◎	◎	
ダニトロンFL	21A		3	1											◎	◎	
ピラニカ水	21A	劇	7	1											◎	◎	
スターマイトFL	25A		1	1											◎		
ダニサラバFL	25A		1	2											◎		
ダニコングFL	25B		1	1											◎		
テッパン液	28		1	2		◎		キ									
エクシレルSE	28		14	2		◎											
グレーシア乳	30		1	2		◎											
アブロードエースFL	16・21A		14	1			◎										

*a:生育期 *b:定植前 *d:4～7月(但し収穫7日前まで) *e:4～9月(但し収穫7日前まで)

カ:カンザワハダニ キ:キイロシヨウジヨウバエ ク:クワカミキリ ヒ:ヒラズハナアザミウマ

幼:幼虫

イチジク（果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる）

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
疫病	生育期	1. 株元周辺をワラ等でマルチする。 2. 発病果実は速やかに除去する。 ・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 Zボルドー(水) 1000倍 ダコニール1000 (FL) 2000倍 ランマンフロアブル 2000倍	梅雨期～収穫期にかけて発生する。
黒かび病	生育期	1. 発病果実を速やかに除去する。 2. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 トップジンM水和剤④ 1000～1500倍 ロブラール500アクア (FL) 1000倍	
アザミウマ類		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 スカウトフロアブル 2000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000倍	
カイガラムシ類		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 アブロードフロアブル 1000倍	
カミキリムシ類 (キボシカミキリ・クワカミキリ)	成虫発生期 生育期	1. 園全体をネットで覆い、成虫の侵入を阻止する。内部で発生した成虫は捕殺する。 2. 成虫発生初期#1にバイオリサ・カミキリ* を樹に架ける。使用方はラベルをよく読むこと。 3. 発生を見たら次の薬剤を塗布する。 ガットサイドS#2 原液を株元から結果母枝まで塗布する。 4. 発生を見たら次の薬剤を使用する。 園芸用キンチョールE#3 クワカミキリ食入部にノズルを差し込み、薬剤が食入部から流出するまで噴射する。	＊果樹類での登録 #1キボシカミキリの発生時期は6月から10月、クワカミキリは6月から9月である。 #2クワカミキリの産卵痕に塗布すると効果的である。 #3クワカミキリで登録園芸用のため小規模栽培向き。
ハダニ類		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 サンマイト水和剤 1000～1500倍 ダニトロンフロアブル 1000～2000倍 マイトコーネフロアブル 1000倍	
その他の病害虫		イチジクヒトリモドキ、ゴマダラカミキリ、株腐病	